

令和3年6月10日

## 令和2年度事業報告

細島水先区水先人会



### 1. 事業概要

令和元年度は当水先区における水先業務の安全且つ円滑な遂行に資するため、合同事務所における引き受けに関する事務および会員の指導、業務連携に関する事業を実施した。

### 2. 重点事項

利用者の信頼に応え得る水先業務の遂行に資するとともに引き受け窓口業務の円滑な実施を図るため、法人水先人会としての会則等の遵守、事業体制及び合同事務所運営の効率化を図ることを最優先事業として推進した。

### 3. 各事業

#### (1) 適正化事業

日向製錬所向けのニッケル船について、日本水先人会連合会の標準操船から逸脱している用錨操船を廃止して入出港共にタグ二隻を配備するすることにした。

RO/RO 船用ターミナル埋め立て工事に関連して航路内や泊地の浚渫と港湾情報の一元管理を港湾管理者に要請、港湾管理者も之を受諾、早期着工に向け進行中。検疫所にて感染症予防に関する講義を受講、それを基にコロナ対策を講じた。

#### (2) 水先業務の円滑な遂行のための事業

現状にマッチしていない水先人会細則、昨年に引き続き継続見直し作業中  
総会に併せて総合委員会の定期開催を明確にして会運営の意識高揚に努めた

#### (3) 水先人養成関連事業

操船研究事例の整理を行い、安全運航に対する意識の強化  
入会后一年の業務制限解除に向けての水先現場研修を実施

#### (4) 会員の指導・連絡

今年8月には二級水先人修業生の現場実習が開始されるので、受け入れ準備態勢に付いて会員同士で確認。実習隻数が少ないので関門水先人会の操船シミュレーションで補完しながら実船経験約50隻の目標を設定。

来年3月1日に会長交代を予定している、主たる事務所の変更に関する登記申請等の手順を始め合同事務所内の事務作業は多岐に亘るので前倒しで指導をしながらの業務引継ぎを開始した。

- (5) 地元関係者との協力事業  
港湾計画の一部変更として RO/RO 船用ターミナルの埋め立て工事に関し、西部海難防止協会の航行安全専門委員会に出席して船舶の安全航行を条件に協力した。
- (6) 業務取次窓口業務  
代理店よりの入出港予報届を基本にして、詳細は個々の水先人の携帯電話で対応
- (7) その他の関連事業  
コロナ渦で地元関係者との接触の機会が激減した。12月の業務連絡協議会は規模を小さく、時間を制限して関係人との意見交換を行い、業務の安全を確認した。

以上